

## 「伊勢市公共施設等総合管理計画（案）」における パブリックコメント結果概要について

### 1 実施の概要

#### (1) 意見募集方法

公報、ホームページ、広報、行政チャンネル文字放送、市長定例記者会見で周知し、計画案をホームページに掲載するとともに、次の場所に備え置き閲覧に供した。

◇計画(案)の閲覧場所(20箇所)

- ・伊勢市役所(1階市民ホール、情報調査室、総務課)
- ・伊勢市役所各総合支所地域振興課(二見、小俣、御園)
- ・伊勢市役所各支所(神社、大湊、浜郷、宮本、豊浜、北浜、城田、四郷、沼木)
- ・伊勢図書館、小俣図書館、生涯学習センターいせトピア、二見生涯学習センター、伊勢市民活動センター

#### (2) 意見提出の対象者

伊勢市内に在住、通勤又は通学されている方等

#### (3) 意見募集の期間

平成27年12月11日(金)～平成28年1月15日(金)

### 2 意見募集の結果

意見数1名(電子メールによる提出:1名)

### 3 意見内容及び市の考え

NO.	寄せられた意見	市の考え
1	<p>意見1 目標値の設定と目標達成の手段(20ページ)について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・数値目標を設定するのは理解容易で良い。ただし、誤解や誤った解釈を招きかねない箇所を訂正する。</li><li>・起案理論(考え方)は、「理想と現実にギャップがあり、その値は1,445億円である。これを0円又は限りなく0円にすることが目標である。」と説明を受けました。</li><li>・それならば、1行目の「計画期間における目標値を・・・」とあるを「計画期間における削減(又は節約)目標値を・・・」に改めるべきです。</li><li>・17行目の「30年間で1,445億円の目標達成・・・」を「30年間で削減目標値の1,445億円を0円にまで削減(又は節約)にするよう目標達成を目指します。」とすべきであります。</li></ul> <p>意見2 上記の目標と手段のオプションについて</p>	<p>意見1、2</p> <p>目標設定の考え方につきましては、公共施設等に係る更新等費用の見込み額と充当可能額との差額(1445億円)を目標値とし、目標達成を目指し更新等費用の抑制と充当額確保の双方から取組みを進めることとしております。</p> <p>また、目標達成の手段につきましては、公共施設、インフラ資産それぞれの基本方針を踏まえ、更新等費用を抑制する手段と充当額を確保する手段について、それぞれ記載をいたしております。</p> <p>しかしながら、ご指摘のとおり該当項目の記載にあたりましては、誤った解釈を避けることを考慮し、ご提案いただきました文案を踏まえ、「更新等費用の抑制」と「充当額の確保」の双方からの取組みで目標値を0(ゼロ)にすることを旨記載いたします。</p>

NO.	寄せられた意見	市の考え
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「0ベースの目標ありき」とする以前に、他の方策オプションを検討したのならば、明記すべきです。</li> <li>・例えば、「40%は確保目標値、60%は削減目標値」とし、確保手段のオプションとして、①国庫交付金の増加要望、②地方債の発行、③市民からの寄付、④他の歳出課目の見直し削減等。それらの手段を検討した旨記載。</li> <li>・原案のように、100%を削減目標とする場合は、前記の策を尽くしたが、万策尽きた理由を明記すべきではないでしょうか。</li> </ul>	
	<p>意見3 この種計画の立案時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「これまで総合管理計画は存在しなかった。」との説明を受けました。</li> <li>・個人の住宅でも、建設直後に維持管理に必要な周期・経費について業者から説明を受け、将来の支出計画を立てているものです。</li> <li>・公共施設においては、耐用命数が60～100年の建物であっても、「公共施設中期整備計画」を策定して、延命のための改修又は建替経費を建設直後に立案すべきであったのではないのでしょうか。</li> </ul>	<p>意見3 維持管理・修繕等の実施方針及び長寿命化の推進方針に記載のとおり、今後は、事後保全ではなく、予防保全の考え方による維持管理を行い、施設を長寿命化し、ライフサイクルコストの縮減・平準化を図ります。</p> <p>なお、市営住宅や橋りょう、トンネル等につきましては、既に長寿命化計画を策定しており、予防保全型の維持管理を行うこととしております。</p>